

令和元年度 事業報告

令和元年度事業計画にもとづき、各事業の実施に努めた。

水道産業界で活動している連合会会員は、その技術開発、生産活動等を通じて、上下水道・工業用水道の質的向上に努め、我が国の生活環境の改善や都市基盤の整備に大きく貢献している。連合会では、会員のこうした活動がやりやすい環境整備を目的に下記の諸活動を展開した。

1 政府機関等への要望活動

当連合会では、次年度以降の政府予算編成にあわせ、上下水道・工業用水道の事業量確保等に向けた一連の要望活動等を行った。

(1) 令和元年8月1日、各省庁の概算要求時に照準をあわせ、串田守可、福田一美、角川政信、水谷重夫、鈴木仁、野村喜一、岡野邦彦、松原正、中村靖各副会長を中心に総勢30名に及び要望団を編成し、厚生労働省、総務省、国土交通省、経済産業省、財務省の他、上下水道・工業用水道関係に携わる衆参両議院議員161名に要望書を持参し、それぞれ令和2年度の上下水道並びに工業用水道の各事業量の確保等に向けた要望活動を行った。

(2) 令和元年10月29日、自由民主党水道事業促進議員連盟主催による水道整備促進全国決起集会が衆議院第一議員会館1階大会議室で開催され、水団連からは鈴木仁副会長並びに松原正副会長等が出席し、代表して岡野邦彦副会長が水道事業の基盤強化及び民間ツールの活用について要望した。

(3) 令和2年3月25日、各省庁による令和3年度予算編成を見据え、正副会長等による要望団を編成し、関係各省に対する要望活動を計画したが、新型コロナウイルスの感染防止を考慮し、事務局による要望書を配布するにとどめた。

(4) その他

① 水道施設整備費等国庫補助事業に係わる工事歩掛の要望

令和元年7月12日、水団連加盟団体から要望があった「管路土工。管切断工。既設管撤去工。工事費の積算。開削工」「US形R方式の追加」「GX形呼び径350の追加」「電気溶接歩係表(裏当溶接)」に関する歩掛改訂要望について、厚生労働省水道課長に提出した。

② 厚生労働省施工技術調査検討会への意見要望

日 時 令和元年7月30日(火)午後1時30分

場 所 厚生労働省仮設第3会議室

内 容 ①についての詳細説明

出席者 全国管工事業協同組合連合会、日本水道鋼管協会、(一社)日本ダクティル鉄管協会関係者9名

2 関係団体行事への協賛

令和元年度事業計画に基づき、日本水道協会、日本工業用水協会、日本下水道協会、全国簡易水道協議会並びに全国水道企業団協議会の各総会及び地方支部総会に対して協賛を行なうとともに水道産業界への支援を要請した。

特に、水道展を併催する日本水道協会令和元年度全国会議には、協賛を行なうとともに開催都市である函館市に対し水道展への協力を要請した。

3 広報宣伝事業の実施

(1) 函館水道展の実施

日本水道協会令和元年度全国会議に併催して、水道展を開催し、会員の最新技術及び新規開発製品等を来場者に披露するとともに会員のカタログ展示を行った。

集客対策として開催案内チラシ及びポスターを作製し、開催市である函館市の協力により、近隣の事業体職員や高校などに水道展開催を周知した。また、来場者の利便を図るため、リーフレットを作成し、ブース配置図を業種別に着色するなど、案内を分かりやすくした。

【第53回 函館水道展概要】

期 日	令和元年11月6日(水)～8日(金) (3日間)
場 所	函館アリーナ(メインアリーナ)
概 要	1) 出展会員数 124会員 ブース数 95 展示面積 1,467㎡
	2) 来場者数 2,934名(登録者数)
	3) 来場者への記念品 「TIFFANY&Co製 マグカップ」
	4) カタログ展示
	展示会員数 40会員 カタログ数 72部 申込部数 369部(9名)

(2) 新聞・業界紙広告

年間事業計画に基づき、各種業界紙、関係業界雑誌などに次の広告を掲載した。

□ 広告掲載誌	業界新聞	36回
	業界誌	8回

(3) 機関誌「水団連」の発行

機関誌「水団連」を年4回(1月、4月、7月、10月)発行し、国の関係機関、研究機関のほか、都道府県庁所在地事業体・政令指定都市所在事業体など、主に水道は給水件数、下水道は処理量、その他工業用水道、企業団は事業規模を勘案し配布した。

※作成部数：毎回2,000部

4 常設カタログ展示場

日本水道会館には、(公社)日本水道協会ほか水道関連団体が入居しており、多くの会議、研修、講演会等が開催され、全国の事業者を含め多数の水道関係者が訪れる。

水団連では、1階に設置した常設カタログ展示場により会員の有する技術・製品情報を展示し、これら来訪者の情報提供を図っている。なお、令和元年度の展示状況は以下のとおりである。

令和元年度の展示状況	□展示会員数	41会員
	□展示ポスト数	47ポスト

5 講演会等の開催

- (1) 日 時 令和2年1月31日(金)午後2時30分
場 所 自動車會館2階大会議室
内 容 「地震・津波と情報」
講 師 気象庁東京管区气象台業務課地震津波防災官 若山 昌彦氏
出席者 63名
- (2) 日 時 令和2年2月18日(火)午前10時
場 所 自動車會館2階大会議室
テーマ 令和2年度上・工・下水道関係政府予算(案)を聞く会
「水道関係予算案」
厚生労働省医薬・生活衛生局水道課課長補佐 松村 達司氏
「工業用水関連予算案」
経済産業省経済産業政策局地域経済産業グループ地域産業基盤整備課
課長補佐 堀 宏行氏
「下水道事業予算案」
国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課
企画専門官 山縣 弘樹氏
出席者 88名

6 施設見学会の実施

第36回施設見学会

- 期 日 令和元年11月21日(木)
見学先 神奈川県内広域水道企業団社家取水管理事務所、アサヒビール神奈川工場
参加者 27名

7 上水道基礎専門研修

若手社員が企業側の視点で官需に係わる基礎的業務内容を習熟し、今後の営業・技術・開発等に活用されることを目的に入社後1～2年程度経過した社員を主対象に以下の日程等により上水道基礎専門研修を実施した。

開催期間 令和元年7月1日(月)～2日(火)[2日間]

開催場所 AP市ヶ谷8階会議室他

受講者 104名

カリキュラム・講師 等

水道事業の経営① 横浜市水道局経理課担当係長 大塚 将文氏

水道事業の経営② 横浜市水道局経理課契約係長 長澤 美智雄氏

水道技術の概要 厚生労働省医薬・生活衛生局水道課課長補佐 林 誠氏

水道技術の基礎 (公社)日本水道協会工務部技術課担当課長 翠川 和幸氏

施設見学 横浜市川井浄水場、又は千葉県ちば野菊の里浄水場

8 調査事業

水道事業計画と資材需要調査

水道事業の今年度の事業計画及び資材需要を把握するため、厚生労働省の協力を得て調査を実施し、報告書の電子データを会員に提供すると共に、全国の水道事業体へも配布した。

9 情報提供

厚生労働省や国土交通省などから入手した通知、資料等について、会員活動に有意義と思われる資料を精査し、メールや水団連ホームページを通じて会員に情報提供を行った。

10 表彰事業

会長表彰(昨年通常総会(令和元年6月7日)において表彰)

□ 感謝状(30年)5会員、(20年)6会員、(10年)1会員

□ 表彰状(役員20年)1氏、(役員10年)1氏、(委員10年)2氏、(役員・委員代理10年)2氏

11 海外協力事業

(1) 第52回 国際協力機構(JICA)上水道研修コースへの協力

期 間 令和元年5月20日(月)～7月12日(金)[約2か月]

研修場所 [講義(日本水道協会)]日本水道会館会議室ほか
[工場見学]会員施設

研修国 アジア・アフリカの8か国

研修人員 8名

※研修終了日(7月12日)にグランドヒル市ヶ谷3階「翡翠の間」において、関係者50名の出席による歓送会を開催して交流を深めた。研修生には当連合会から研修アルバムを贈呈した。

(2) ISO/TC224 (国際標準化機構技術委員会) への参画

ISO/TC224が定める上下水道サービス事業の国際規格については、(公社)日本水道協会に設置されたISO/TC224上水道国内対策委員会において調整、検討を行っており、本連合会からも委員を派遣し産業界の立場から意見を発信している。

また、ISO/TC224総会等へも出席し、2019(令和元)年度は3回開催された。

6月 ISO/TC224第13回総会 WG7及びWG9会議

デンマーク王国コペンハーゲン市

10月 WG14会議 中華人民共和国深圳市

11月 WG7会議 アルゼンチン共和国ブエノスアイレス市

(3) 第8回IWA-ASPIRE(国際水協会・アジア太平洋地域)会議・展示会の出展

国際水協会の第8回アジア・太平洋地域会議(ASPIRE)が10月31日～11月2日の3日間、中華人民共和国香港特別行政区の香港コンベンション&エキシビションセンターにおいて「強靱な水システムのための賢い解決策」をテーマに開催され、34の国と地域から約1,000人が参加した。水団連では、宮崎正信専務理事が会議に参加するとともに展示会内に設置されたジャパンパビリオンにおいてパネル展示を行うなどの情報発信を行った。

12 新年名刺交換会の開催

恒例の新年名刺交換会は、日本水道協会・日本下水道協会・日本工業用水協会・全国簡易水道協議会及び当連合会の共催により以下の3地区で開催した。

(1) 東京地区

令和2年1月7日(火)午後4時から日比谷の東京會館3階「ローズの間」において開催した。

会場には、加藤勝信厚生労働大臣をはじめ北村誠吾内閣府特命担当大臣、横山信一復興副大臣の他、工藤彰三、櫻田義孝、盛山正仁(以上自由民主党)、井上義久、太田昭宏、高木美智代、古屋範子(以上公明党)、森山浩行(立憲民主党)各衆議院議員、足立敏之(自由民主党)、平木大作(公明党)各参議院議員並びに関係省庁、事業体ほか会員計約900名の出席があった。主催5団体を代表して木股昌俊会長の挨拶のあと各界との交流を深めた。

(2) 名古屋地区

令和2年1月8日(水)午前11時から名古屋市中村区の名鉄ニューグランドホテル7階「扇の間」において、中部ウォータークラブ、全国上下水道コンサルタント協会中部支部及び5団体共催により開催し、山田雅雄中部ウォータークラブ理事長による挨拶のあと交流を行った。出席者:約400名

(3) 大阪地区

令和2年1月8日(水)午後3時から大阪府中央区のシティプラザ大阪2階「旬の間」において、関西ウォータークラブ及び5団体共催により開催し、玉井得雄関西ウォータークラブ理事長による挨拶のあと串田守可副会長の乾杯で交流を行った。出席者:約550名

13 国主催の中央行事等への協賛

(1) 第61回 水道週間

期 間 令和元年6月1日(土)～7日(金)
主 催 厚生労働省、都道府県ほか
知-がソ 「いつものむ いつもの水に 日々感謝」

(2) 第43回 水の週間中央行事「水を考えるつどい」

期 日 令和元年8月1日(木)[期間8/1(木)～8/7(水)]
場 所 パークタワーホール
主 催 水循環政策本部、国土交通省、東京都など実行委員会

(3) 子ども霞が関見学デー

期 間 令和元年8月7日(水)～8日(木)
場 所 中央合同庁舎5号館低層棟講堂ほか
主 催 厚生労働省、経済産業省、国土交通省など26府省庁等の連携

(4) その他の協賛等

① 健康のため水を飲もう推進運動

目 的 「健康のため水を飲んで、熱中症や脳梗塞などの重大な事故から尊い人命を守る」
主 催 「健康のため水を飲もう」推進委員会(委員長＝武藤芳照東京健康リハビリテーション総合研究所長)
後 援 厚生労働省
協 賛 本連合会ほか

② 第61回「水の写真コンテスト」(水道週間協賛事業)

募集期間 令和元年6月1日(土)～9月10日(火)
題 材 水のある風景、水を利用している場面、水道施設または工事風景
主 催 (株)水道産業新聞社
後 援 厚生労働省、本連合会ほか
特別賞 (一社)日本水道工業団体連合会会長賞

③ 第11回 水道技術国際シンポジウム

期 間 令和元年7月9日(火)～11日(木)[3日間]
場 所 パシフィコ横浜
主 催 第11回水道技術国際シンポジウム実行委員会(事務局：(公財)水道技術研究センター、横浜市水道局)
後 援 厚生労働省、国際水協会、(公社)日本水道協会、全国簡易水道協議会ほか
協 賛 本連合会ほか

- ④ 第14回 再生可能エネルギー世界展示会
 期 間 令和元年7月10日(水)～12日(金)[3日間]
 場 所 パシフィコ横浜
 主 催 (特非)再生可能エネルギー協議会
 後 援 経済産業省、環境省、国土交通省ほか
 協 賛 本連合会ほか
- ⑤ 下水道、くらしを支え、未来を拓く「下水道展'19 横浜」
 期 間 令和元年8月6日(火)～9日(金)[3日間]
 場 所 パシフィコ横浜 展示ホールA～D/アネックスホール
 主 催 (公社)日本下水道協会
 後 援 国土交通省、環境省、経済産業省、日本下水道事業団ほか
 協 賛 本連合会ほか
- ⑥ 第11回 シンポジウム「持続可能な水道システムの確立」
 期 間 令和元年8月22日(木)～23日(金)[2日間]
 場 所 横浜国立大学経営学部1号館108室
 主 催 「持続可能な水道システムの確立」企画委員会(委員長＝清塚雅彦(公財)水道
 技術研究センター常務理事)
 後 援 厚生労働省、本連合会ほか
- ⑦ エコテクノ2019(地球環境ソリューション展&I初年^{*}-先端技術展)
 期 間 令和元年10月9日(水)～11日(金)[3日間]
 場 所 北九州市・西日本総合展示場新館他
 主 催 福岡県、北九州市、(公財)北九州観光コンベンション協会
 後 援 国土交通省九州地方整備局、経済産業省九州経済産業局、環境省九州地方環
 境事務所、本連合会ほか
- ⑧ い～い井戸の日 2019 in 四国
 期 日 令和元年11月7日(木)
 場 所 高知市・ザクラウンパレス新阪急高知
 主 催 (一社)全国さく井協会
 後 援 国土交通省
 協 賛 本連合会ほか

⑨ 浄水技術研究会第20回講演会

期 日 令和元年11月29日(金)
場 所 自動車会館大会議室
主 催 浄水技術研究会
後 援 厚生労働省、本連合会ほか

⑩ Japan Home & Building Show 2019

期 間 令和元年11月13日(水)～15日(金)[3日間]
場 所 東京ビッグサイト
主 催 (一社)日本能率協会
後 援 経済産業省、国土交通省
協 賛 本連合会ほか

⑪ (一社)スマート水道推進協会主催第4回特別講演会

期 日 令和元年12月18日(水)
場 所 けんぼプラザ3階集会室
主 催 (一社)スマート水道推進協会
後 援 本連合会

⑫ 2020年度ミス日本「水の天使」

選考日 令和2年1月20日(月)
役 割 生命の豊かさを支える美しい水のための人々の努力と、世界の水インフラの発展に貢献できる日本の素晴らしい経験と技術をわかりやすく伝える
主 催 (一社)ミス日本協会
協 賛 本連合会ほか
受賞者 獨協大学法学部総合政策学科2年中村真優さん(千葉県出身21歳)

⑬ InterAqua 2020 第11回水ソリューション総合展

期 間 令和2年1月29日(水)～31日(金)[3日間]
場 所 東京ビッグサイト
主 催 (株)JTBコミュニケーションデザイン
後 援 本連合会ほか

15 協議会等への所属状況

- (1) (公社)国際厚生事業団
- (2) (特非)日本水フォーラム

16 事務局として関わる組織

- (1) 水友会
- (2) 関東全水道人囲碁同好会

17 水団連ホームページによる情報発信

水団連ホームページでは、関係省の施策、予算等の情報提供を行うとともに、水道展関係資料、講演会開催等の周知を図っている。

18 委員会の検討課題

水団連に設置している各常設委員会では、事業の定型化や休止状態の委員会も生じてきているため、企画委員会の下に「水道の基盤強化支援ワーキング（略称：SKK-WG）」及び5つのサブWGを設置し、活動の活発化や整理統合の可能性について議論を行なった。各サブWGでの検討状況は以下のとおりである。

SWG 1（技術交流・人材育成支援）

○よろず相談窓口の開設

水団連ホームページ・水道展等で、水道の基盤強化に関する相談を受け付ける。

○新技術・製品の紹介

水団連ホームページ上で会員各社の新技術・新製品を期間を限定して紹介する（各社の新製品の紹介ページにリンク）

SWG 2（施設更新の促進支援）

○施設更新事例の紹介

水団連ホームページ上で、浄水場、配水池、管路等の市場拡大につながる更新事例（内容、金額、受注企業等）を紹介する。

また、事業体の課題とマッチングした企業の技術・製品を紹介する。

SWG 3（予算の維持拡充と制度改善）

○補助メニューの拡充

厚労省等へ新規補助メニューの提案や既存補助メニューの要件緩和を要望する。

SWG 4（官民連携・広域化支援）

○官民連携リーフレット

水団連ホームページ上で、官民連携における産業界の支援活動の紹介リーフレットを公開する。

○広域連携リーフレット

水団連ホームページ上で、広域連携における産業界の支援活動の紹介リーフレットを公開する。

SWG 5（水団連・会員の強化）

○水道展ホームページの改善

水道施設（水源から蛇口まで）の図を基本に会員会社の製品、サービスを紹介する。

○会員のレベルアップ

会員のレベルアップにつながる若手向け資格取得講習会を開催する。

○災害時の窓口の設置

日本水道協会との情報一本化による応急復旧の迅速化と水団連の認知度をアップさせる。

なお、令和2年度では各サブWGで検討された事業実施の可否について討議を行い、直ぐに着手可能な事業については令和2年度から実施する方向を示すとともに委員会の統廃合についても検討をしていく。